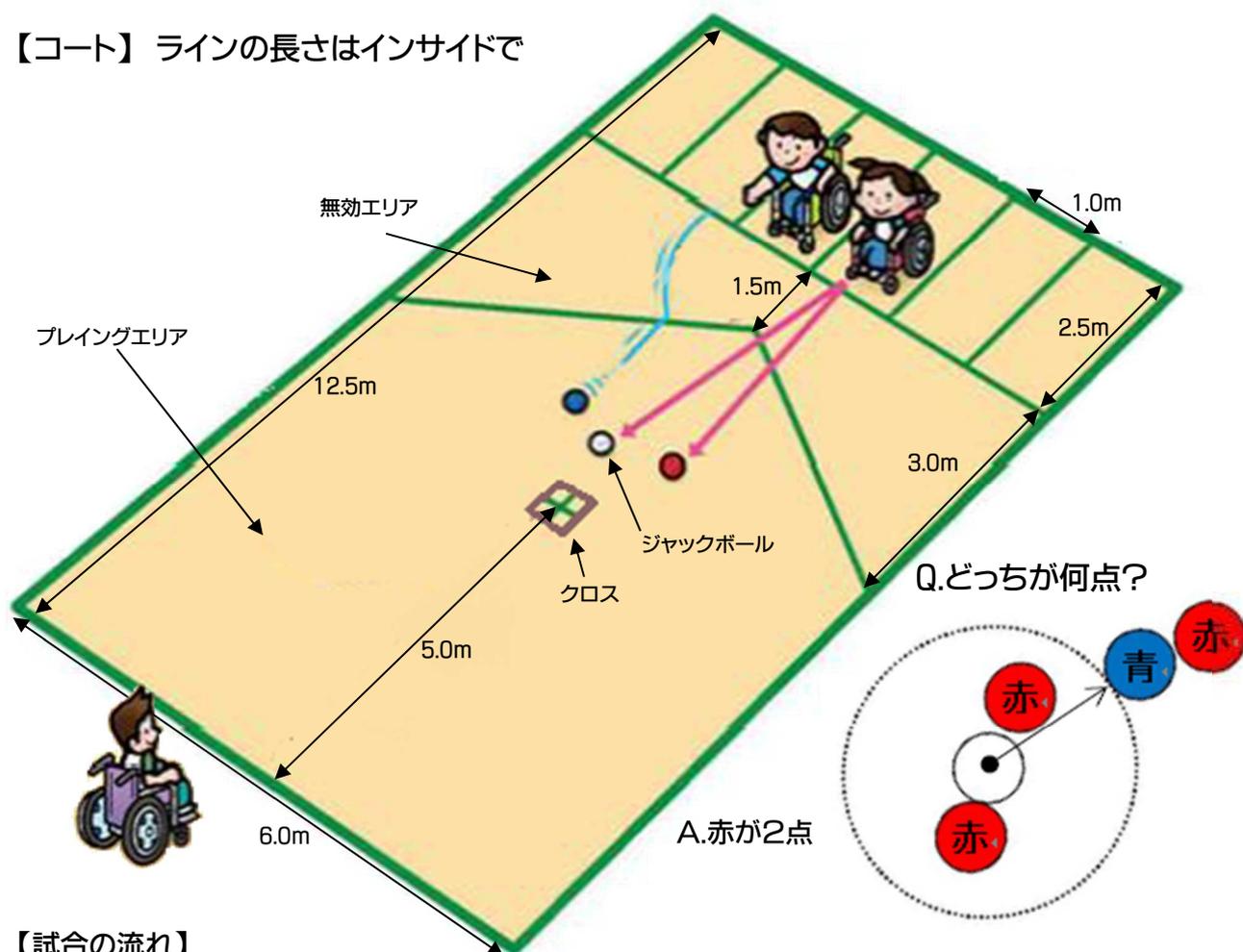


ボッチャ交流会ルール

※今回の交流大会用に簡素化したルールです。

【コート】 ラインの長さはインサイドで



【試合の流れ】

①コイントスで赤サイド、青サイドを決める。

②ジャックボール(白球)の投球

赤サイドからジャックボールを投球し、第一エンドをはじめます。

無効エリア、あるいは外へ出てしまった場合には、ジャックボールは相手サイド(青サイド)にうつる。

③カラーボール(赤サイドまたは青サイド)の投球

ジャックボールを投球した選手が、最初のカラーボールを投球する。次に相手サイドが投球する。その後はジャックから遠いサイドが投球する。コート外に出てしまったり、ヴァイオレーション(反則)によって除去されてしまったりした場合、そのサイドがコートのプレイングエリア内にボールを投球できる。

④エンドの終了

両サイドが全てのボールを投球したあと、審判がそれぞれサイドの得点を発表し“End is finished”を宣言した時点でエンドの終了となる。

【試合の注意事項】

- ジャック直後のボールがデッドボールになった場合には、再度同じサイドが投球する。
- 試合中にジャックボールがプレイングエリアの外、あるいは無効エリアにはじき出された場合はクロスに置かれる。
- 投球したボールはラインのインサイドに触れた時点でデッドボールとなる。

【選手の注意事項】

- 審判が投球サイドを指示するまでは、投球をしてはならない。
- 投球時には、選手、その車椅子、アシスタント、持ち込んだすべてのものや衣類がスローイングボックスのマーキングに触れていたり、外に出ていたりしてはいけない。
- 相手サイドの持ち時間のときに、椅子やランプの向きを調整したり、ボールを丸めたりするなどの投球準備や投球をしてはならない。
- 審判に投球サイドとしてコールされれば、ボールを見にエリア内に入ることは可能。
- 自分のサイドの持ち時間でない時間にスローイングボックスを離れることはできない。
- 相手が投球サイドであるとき、自投球エリア内であっても相手を妨害するような声や動きは反則となることがある。
- エンド中に選手、アシスタント以外は投球に関わるコミュニケーションをとってはいけない。ただし、エンドとエンドの間は話をしてもよい。

【得点及び勝敗】

- ジャックボールに最も近いボールを投球したサイドに得点が入る。点数は、相手サイドで最もジャックに近いボールを基準とし、それよりもジャックに近いボール 1 個につき 1 点が与えられる。
- 試合終了後に各エンドの得点を合計し、総得点の多いサイドが勝者となる。

※参考:日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020

参考資料

【クラスわけ】

	BC1	BC2	BC3	BC4
脳性まひ	○	○	○	
投げる	○	○	×	○
勾配具	×	×	○	×
介助者	△	×	○	×
備考	車椅子の固定やボールを渡すなど介助	車椅子操作が上肢で可能	自身での投球不可	BC1、BC2 と同等のCP 以外

※交流大会ではこのクラス分けを使用していない